

「建設中止」署名(第一次分)を4月25日長崎県に提出

起工式をまえに署名2157筆添えて建設中止を申し入れ

スゴイ反応1時間で275筆、188筆!



建設反対署名への協力を訴える菅代表委員

長崎「新幹線」の建設中止を求める県民の会は3月16日(日)と4月13日(火)に長崎市・鉄橋で、建設中止を求める署名をおこないました。第1回目は、「会」代表委員の川崎一宏さん、大橋由紀子さん、中里研哉事務局長をはじめ団体と個人の賛同者など33人が参加して、1時間でビラ約2000枚を配布し、署名は275筆が寄せられました。第2回目は菅政和代表委員をはじめ30人が参加して1時間で188筆が集まりました。「会」結成を知って親子でかけつけて一緒に署名活動に参加した女性もありました。2回ともあまりの反応の大きさに参加した人がビックリするほどでした。「今のJR線で十分よ」、「金子知事のやり方はひどすぎる」、「新幹線よりも市民の暮らしにお金を使ってほしい」、「私はイージス艦と新幹線が嫌いよ」…など、署名しながら自らの思いを語っていく人が相次ぎました。

署名活動を地域や職場で大いに広げ、長崎「新幹線」建設中止の声を県民多数派にしていきたいと思います。

長崎「新幹線」の建設中止を求める県民の会は3月16日(日)と4月13日(火)に長崎市・鉄橋で、建設中止を求める署名をおこないました。

第1回目は、「会」代表委員の川崎一宏さん、大橋由紀子さん、中里研哉事務局長をはじめ団体と個人の賛同者など

33人が参加して、1時間でビラ約2000枚を配布し、署名は275筆が寄せられました。第2回目は菅政和代表委員をはじめ30人が参加して1時間で188筆が集まりました。「会」結成を知って親子でかけつけて一緒に署名活動に参加した女性もありました。2回ともあまりの反応の大きさに参加した人がビックリするほどでした。「今のJR線で十分よ」、「金子知事のやり方はひどすぎる」、「新幹線よりも市民の暮らしにお金を使ってほしい」、「私はイージス艦と新幹線が嫌いよ」…など、署名しながら自らの思いを語っていく人が相次ぎました。

署名活動を地域や職場で大いに広げ、長崎「新幹線」建設中止の声を県民多数派にしていきたいと思います。

筆)をもって、建設の中止を要求しました。申し入れ行動には、中里事務局長、堀江ひとみ県



右側が「会」の代表団

「新幹線」建設中止の会は、新幹線建設起工式(28日)を前に、4月25日金子知事あての「建設中止を求める署名」(第一次分2157筆)を提出しました。中里事務局長は、建設中止の署名に大きな反応があることを紹介し、県民の多くは「新幹線」建設に合意していないと述べて建設中止を強く申し入れました。また、在来線に関わる長崎・佐賀両県の財政負担で長崎県が佐賀県の2倍となったことについても厳しい批判の声が出されました。対応した新幹線建設推進課の参事は、「会」の申し入れについて知事に伝えると答えるだけでした。

長崎「新幹線」の建設中止を求める県民の会が結成

長崎「新幹線」の建設中止を求める県民の会(略称:「新幹線」建設中止の会)が1月31日結成されました。

参加団体は長崎県労連、長崎自治労連、年金者組合長崎県本部、建交労県本部、新日本婦人の会県本部、長崎県民医連、民主青年同盟県委員会、日本共産党県委員会です。

代表委員は川崎一宏氏(県労連議長)、大橋由紀子氏(新婦人県本部副会長)、菅政和氏(長崎県民医連医師)、近藤直氏(佐世保

民商会長)の4氏、事務局長は中里研哉氏(建交労県本部委員長)、事務所は建交労県本部です。

2月8日大橋代表委員、中里事務局長らが県庁で記者会見して、「新幹線」建設中止の会の結成と活動方針について発表。

その後ただちに長崎「新幹線」の建設中止を求めて活動を開始しました。

長崎「新幹線」の建設中止を求める県民の会ニュース

'08. 4. 26. 事務所 長崎市恵美須町 7-19dan ビル 2F
全日本建設交運一般労働組合内 tel095-801-8800

長崎「新幹線」建設中止の会結成の経過と活動の紹介

結成に至る経過

これまで県知事選挙を一緒にたたかった県労連、自治労連、建交労、高教組、新婦人、長商連、民医連など10団体のよびかけで、07年11月4日新幹線問題学習会を開催した。これを契機に、「長崎新幹線を考える会」（準備会）が発足した。

「考える会」（準備会）は、12月14日県議会総務委員会で、「新幹線西九州ルート建設の中止を求める請願」を堀江ひとみ県議を紹介議員にしておこなった。

12月17日長崎県、佐賀県、JR九州の3者で、「三者基本合意」が発表したことに對して、「考える会」（準備会）は12月21日、金子知事に対して、「『三者基本合意』にもとづく新幹線西九州ルート建設」の中止を申し入れた。

建設着工の動きが強まる中で、「考える会」（準備会）に参加する労働組合、市民団体、政党の7団体で、建設中止の県民運動を強化するために、08年1月31日長崎「新幹線」の建設中止を求める県民の会（略称・「新幹線」建設中止の会）を結成した。その後、県議会、市議会への請願、街頭宣伝、署名活動などに取り組んでいる。

長崎市議会、県議会へ請願

「新幹線」建設中止の会は、2月定例長崎市議会に対して、長崎「新幹線」の建設中止を求める請願を、牧山隆（共）、井原東洋一（無所属）の両議員が紹介議員となって提出。

中里研哉事務局長など3人が参考人として出席。委員会審議では参考人への相次ぐ質問や活発な論議がおこなわれたが、賛成少数で不採択となった。市会議員のなかでも曖昧な「新幹線」への理解であることがあきらかになった。

「会」は2月定例長崎県議会・総務委員会で、県民合意のない長崎「新幹線」の建設中止を求める請願をおこなった。



市議会で請願する3人



県議会で中里氏(左) 堀江県議(右)

堀江ひとみ県議（共産党）が紹介議員として、中里研哉「会」事務局長が請願趣旨説明をおこなった。

中里氏は、各種のマスコミ調査などを示して、「新幹線建設には県民の合意はないと指摘し、「県民主役の県政」を掲げて当選した知事は建設を中止すべきであると述べた。さらに新幹線建設推進室長などが、「県民の大方の了解が得られている」というのは事実には反していることを厳しく指摘した。

委員会では何が何でも建設推進をはかろうという意見が相次ぎ、請願は不採択になった。

佐世保などで宣伝キャラバン

「会」は4月8日中里研哉事務局長、新婦人県本部大石久仁子事務局長など6名が参加して、「新幹線」建設中止の宣伝行動をおこなった。東彼杵町、川棚町、佐世保市などで7カ所で街頭宣伝、街頭署名、ビラ配布（1500枚）をおこなった。



佐世保市役所前で宣伝

どこでも長崎「新幹線」への関心は大きい。批判と疑問の声が次々と出される。「今頃なんで作るとか」「そんなお金は暮らしのためにつかえべきでは」「金子知事はおかしな、」近所に配るからとビラが欲しい」などの声寄せられた。

田上市長発言へ抗議

田上長崎市長が14日、議員連盟設立総会のあいさつで、新幹線建設に反対する市民を、百年前に水道建設に反対した人たちの話になぞらえて、「新幹線」建設反対者は時代遅れの集団と言わんばかりの発言を行った。

「会」は4月25日、この発言は「新幹線」建設に批判的な多数の市民を侮辱するものとして、抗議と撤回を申し入れた。市長は、今後発言に注意するというだけで撤回を拒否した。